

# 令和7年度 第1回上越警察署協議会議事概要

開催日時	令和7年6月20日(金)午後3時30分から午後5時30分まで		
開催場所	上越警察署 大会議室		
出席者	委員 (定数15人)	佐藤(正)会長 伊藤副会長 沢田委員 仲山委員 河野委員 高舘委員 飯田委員 熊木委員 佐藤(洋)委員 石田委員 竹田委員 小林(修)委員 佐藤(良)委員	計13人
	警察	湊署長 川瀬副署長 山口会計官 遠藤地域官 小池刑事官 細川警務課長 田邊留置管理課長 竹内生活安全課長 高橋地域第一課長 関口地域第三課長 笠原刑事第一課長 小川刑事第二課長 小池交通課長 爲ヶ谷警備課長	計14人

## 管内の治安情勢等

署長から、令和7年4月末現在の管内治安情勢について資料に基づき説明があった。

## 前回の答申事項に対する業務推進状況

前回答申した重点推進項目の取組状況について、署長から説明があった。

### 1 効果的な犯罪防止活動の推進

- (1) 安心感を高める街頭活動の強化
- (2) 特殊詐欺被害防止対策の推進

### 2 悪質・重要犯罪等の検挙と被害者保護対策の徹底

- (1) 人身安全関連事案への迅速かつ的確な対処
- (2) 悪質・重要犯罪等の検挙

### 3 交通事故防止対策の推進

- (1) 歩行者事故防止対策の推進
- (2) 高齢者事故防止対策の推進

## 諮問

署長から当面の重点推進事項について、次のとおり諮問があった。

### 1 効果的な犯罪防止活動の推進

- (1) 制服警察官による「見守り警戒」と「見せる活動」の強化
- (2) 積極的な職務質問による犯罪抑止・検挙活動の推進
- (3) 巡回連絡による困りごと等の把握
- (4) 特殊詐欺被害防止対策の推進

### 2 悪質・重要犯罪等の検挙と被害者保護対策の推進

- (1) 人身安全関連事案への迅速かつ的確な対処
- (2) 散発的に発生している侵入窃盗に対する検挙活動の推進

(3) 特殊詐欺事件発生時における検挙に向けた基礎捜査の推進

### 3 交通事故防止対策の推進

- (1) 歩行者事故防止対策の推進
- (2) 高齢者事故防止対策の推進

#### 答申

上越警察署協議会として協議・検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

#### 意見・質疑・要望等（○は署長等の説明）

- 1 新潟県の自転車ヘルメットの着用率が全国最低であると聞いたが、その後、着用率は向上したのか。また、上越署では、ヘルメット着用率向上に向け、どのような取組をしているのか。
  - 新潟県警では、自転車乗車時のヘルメット着用率向上に向け、あらゆる機会を通じた広報啓発活動を推進した結果、着用率は若干向上したものの、依然として低い状況です。上越警察署としては、引き続き、自転車乗りに対する着用指導、サイクルポリスと連携した広報啓発活動、中学校・高校を中心とした学校への働きかけを行い、着用率向上に努めていきます。
- 2 上越市内の自転車乗車のマナー向上の対策はどのように行われているか。
  - 上越警察署としましては、街頭において、イエローカード（交通安全カード）を活用した自転車指導を行い、悪質違反については検挙の措置をとっています。また、各年代の学校に働きかけて自転車安全講習を実施しています。更に、各種イベント等の機会に自転車利用時の安全運転を広報し、自転車マナーの向上に努めています。
- 3 上越市における高齢者加害事故の状況について教えていただきたい。
  - 5月末現在、高齢者加害事故の発生件数は、全人身事故の3割以上を占めており、前年同期比で増加しています。このような状況を踏まえ、上越警察署といたしましては、真に効果のある、交通指導取締り、交通安全広報及び交通安全講習を推進して、高齢者加害事故の抑止に努めてまいります。
- 4 令和6年中の少年補導の状況と深夜徘徊の溜まり場について教えて欲しい。
  - 令和6年中の深夜徘徊などの少年補導の件数は、前年と比べて減少しました。内訳は、高校生が半数以上を占めています。深夜徘徊については、コンビニエンスストアや、深夜営業しているスーパーマーケットでの補導が多くなっています。

#### 速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。